

スポーツ文化評論家 玉木 正之

(5)

子供のように無心になってボールを投げ、ボールを打ち、ボールを追う。そんな選手たちを、ひとつの野球チームに纏めるには、監督の存在が不可欠。あらゆるスポーツのなかで、勝利を目指してチームをまとめ、牽引する存在を、マネジャー（監督・管理者）と呼ぶのは野球だけだ。

他のスポーツでは、コーチ、デ

となる。その典型がヤンキースを率いてワールドシリーズ優勝7回の偉業を残したケーシー・ステングルだ。彼の像に刻まれた顔の皺は、監督（父親）としての勳章だ。「まだ疲れてません」と交代を拒否するマウンド上の投手に向かってステングルは言った。「見ている俺が疲れたから代わってくれ」日本でも、三原、水原、鶴岡、川上……と、プロ野球の名監督はすべて父親的だった。が、そんな監督は野村克也で最後になったようだ。（1965年、銅像）

